

まぶ、で KOSO!

過去の記事は
こちら

大谷スタイル 学問に面白み

「ピッチャー」と「バッター」と「盗塁」。どれか一つを究めるだけでも大変なのに、投打走ともに世界の舞台で輝きを放ち、盗塁でも圧倒的な存在感を放つ。そんな夢のような「掛け算」を実現しているのが、大谷翔平選手です。

この表現は、私の知人が講演で話された内容で、私自身とても気に入っている考え方です。掛け算という言葉ひとつで、彼のすごさがスッと伝わる気がします。

歴史をさかのぼれば、岐阜ゆかりの織田信長公も、長篠の戦いで「鉄砲」と「三段撃ち」の掛け算により戦い方を変えたと言われています(諸説あり)。私たちの身の回りでも、「携帯電話」

×「タッチセンサー」＝「スマートフォン」のように、異なる技術の掛け算から多くのイノベーションが生まれています。

私も岐阜大で日々、掛け算を意識した研究を行っています。超精密加工学では「機械」×「化学」×「データサイエンス」、刃物学では「人の感性」×「人工知能(AI)」×「ものづくり」×「ロボット」といった分野の融合のように。例えば包丁の「何となく切れる感覚」を数値化することにも挑戦中です。こうした面白さは、学生たちとの教育にも生かしています。

講義では「自分の好きや得意を掛け算してごらん」と伝え、約100人が受講する講義でも学生全員を飽きさせないよういろいろと工夫しています。講義も「学生」×「教員」の掛け算で、より面白く、楽しく、深くなると信じています。

そして、すでに夢がある学生には「どんどん広げて」と背中を押し、まだ夢が見つからない学生には「焦らなくていい。一つひとつの出会いが、きっと何かのきっかけになるから」と伝えています。

中高生の皆さんへ。夢や好きなことがあるなら、それを育て



畝田道雄さん

て、他の興味と掛け算してみてください。まだ見つからない人も大丈夫。好きは、ふとした瞬間に出合えますから。

保護者の皆さまへ。お子さんが夢中になっているものがあるなら、そっと応援してください。興味がないように見えても、その子なりのペースで育てています。やがて何かに出合ったとき、自由に掛け算できる土壌を整えてあげることが、いま



開発中のロボット研磨装置と筆者
—岐阜大地域連携スマート金型技術
研究センターで

国でも珍しい存在です。総合大学ならではの、ですね。

異なる知識や人が出会い、「知識×知識」「人×人」の掛け算によって、新しい価値が生まれる。そんな土壌が、ここにはあります。だからこそ、日常の何げない場面でも「掛け算」の話をしたくなるのです。

うねだ・みちお 工学部



機械工学科
教授。工学
部関の刃物
サステナブル
技術革新
拠点・拠点
長。専門は
精密工学。
金沢工業大大学院修了。博
士(工学)。1972年生まれ。

最大のサポートだと思いま
す。
岐阜大は、そんな「掛け算」
があちこちで生まれている場所
です。「日本刀」や「刃物」を、
「機械工学」や「感性工学」、
「AI」や「伝統工芸」、そし
て「デザイン思考」と自由に掛
け算しながら学べる大学は、全